





**■豊富な実績をもつ質の高い住まい**

HP-R(エイチピー・アール)工法は、8階から15階程度の高層集合住宅に適した工法で、H型鋼とPC板ならびに現場打ち鉄筋コンクリートを効果的に組合せて構造躯体を構成します。経済性・耐震性・居住性に優れ、わが国で多くの実績を持っております。

**■高層住宅を経済的に建設する工業化工法**

質の高い経済的な住宅を提供する為に、当社は超高層から低層まで幅広いニーズに対応できる集合住宅の工法を保有しています。その中のひとつ、高層集合住宅は人口の集中した都市部において、限られた土地を高度利用するために、建設が増えています。

しかし、在来工法では住宅が高層化するほど建設費や工期が増大するという問題があります。当社では、この問題に早くから取り組み、低価格で居住性も良く建設工期の短い高層集合住宅の工業化工法を開発してまいりました。

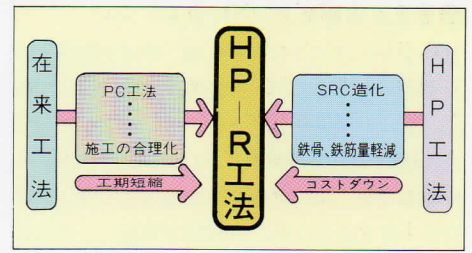




■我国初の高層集合住宅—HP工法の開発  
高層集合住宅の工業化工法として、1966年に高品質なH型鋼とプレキャスト板を組合せたHP工法を開発しました。この工法は、以後HPC工法という名称で広く普及し、各地で建設されるようになりました。

■HP工法からHP-R工法へ

HP工法は一般在来工法に比べ、コスト・工期の面でメリットがありました。しかし、当社はさらに経済性を追求し、1973年工場生産のPC工法と現場打ち鉄骨鉄筋コンクリート造の各々の良さを取入れて、HP-R工法を開発しました。



寝屋川東ファミリータウン（大阪）



# 安く、早く、安全で快適な高層住宅を建設します。

## ■住宅の高層化とHP-R工法

土地を有効活用するためには、住宅を高層化する必要がありますが、人の住まいを高層とするには多くの問題があります。建設面では、建設費の低減、工期の短縮、さらに地震・火災に対する安全性、強風に対する配慮などです。

HP-R工法はこれらの問題を解決し、さらに

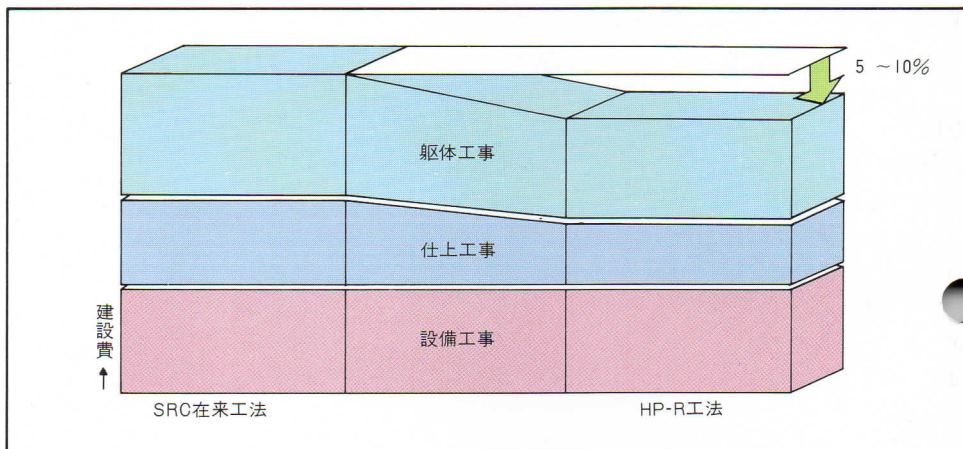
居住性も向上させて快適な空間を提供できます。

## ●省資源設計による経済的な建設費

一般に建物を高層化すると、鉄骨・鉄筋の量が増え、躯体工事費が大幅に増大します。

HP-R工法では、集合住宅の戸境壁を耐力壁として構造的に活用し、さらに従来のHPC工法では、構造的に働いていなかった梁部のコンクリートを構造的に用いることにより、鉄骨の使用量を半分に減らす省資源設計とし、建設費の低減をはかっています。

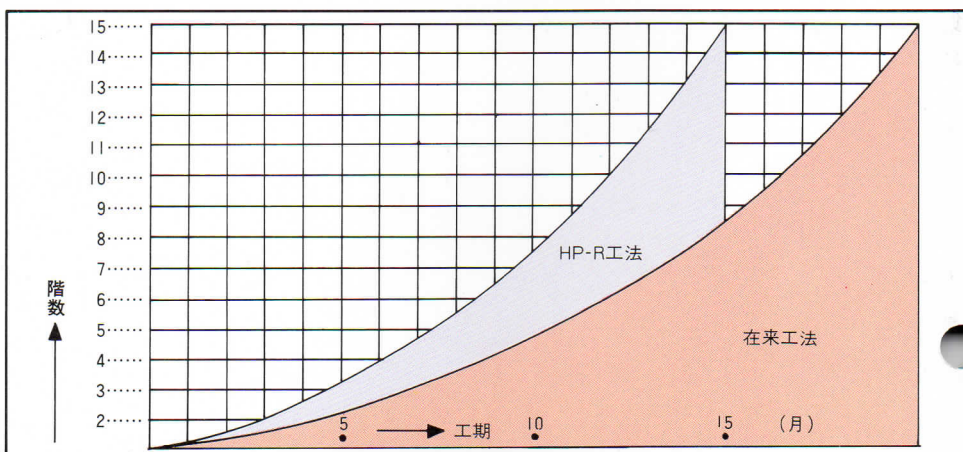
このため建設費は、SRC在来工法に比べ5~10%、HPC工法に比べ10~20%のコストダウンとなっています。



## ●工業化により短縮された工期

工場生産による高品質のPC板を用い、また各種新開発技術の適用により、在来工法に比べ、50%以上の省力化をはかっています。

工期的にも、躯体一階分を立上げる工期を、9~10日間程度とし、在来SRC工法の14日間程度に比べ大幅に短縮しています。14階建の建物の場合、躯体工事で約2ヵ月短縮できます。このため全体工期においても、在来工法に比べて1/4程度の工期短縮ができます。



## ●一体化構造による安全性の高い耐震設計

HP-R工法では、柱と床は現場打ちコンクリートですので、PC壁板の側部は柱の、上下部は床のコンクリートに吞み込ませるウェットジョイントとしております。

このため、建物全体が構造的に一体化され安全性の高い構造となっています。このことは各種の構造実験により確認されています。

